

もしも

憲法第九条が変えられてしまったら！

ーこんな世の中になるかもしれませんー

- ◆さあ日本は「戦争ができる国」になりました。軍隊は武器を持ってよその国にも行くことができるようになりました。
- ◆戦争でこまっている人びとを助けるためだ（国際貢献だ）と言えば、いつでも軍隊が武器を持って危ないよその国にでかけるようになります。（今は憲法9条があるため、特殊な法律を作って、武器を持ってイラクに出かけていっています）
- ◆戦争をするかどうかは、政府のほんの何人かで決めていい、というきまりを作ります。ほかの人には「戦争をすることにしたよ」と言います。「時間がないので後で説明するよ」といいます。
- ◆国が戦争をするとか、するかもしれないと決めると、テレビやラジオや新聞は、国が発表したとおりのことを言うようになります。都合の悪いことは言うてはいけないというきまりも作ります。（国民保護法）
- ◆仲よしのアメリカが、「戦争をすることにしたよ」と言えば、日本に関係のない戦争でも、軍隊はよその国に出かけていって一緒に戦争をします。（集団的安全保障）
- ◆攻められそうだと思ったら、「これは自衛だよ」と言い張って、先にこっちから攻めることもできるようにします。（先制攻撃）
- ◆戦争が起ったり、起こりそうなときは、お店の品物や、あなたの家や土地を軍隊が自由に使えるというきまりを作ります。
- ◆みんなで、ふだんから、戦争の時のための練習をします。「なんかへんだな」と思っても「どうして？」と聞けるようなふんいきではありません。
- ◆学校では、いい国民は何をしななければならないか、教わります。どんな国が悪い国でどんな人が悪い国民かも教わります。
- ◆「人のいのち」が世の中で一番大切だと、教わったことが間違いになりました。一番大切なのは「国」になったのです。

【二〇〇五年三月一三日（日） 第四五七回憲法を守る平和行進】

浜松市憲法を守る会

事務局

浜松市紺屋町三〇一、一五

★月例護憲デモ

毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所西出入口集合